

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		LUMO白糸高齢者		公表日 2020年2月21日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	改善や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が介護支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○	人数が時に多い、2チームに分けて運動をするようにしている。	引き続き質の向上を図っていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置等は適切であるか。		○	子どもの人数に応じて、セッションの人数の調整、落ち遅い運動ができるような配置にしている。	引き続き質の向上を図っていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や音響伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	赤いボードやカーンダウンルームの設置をして、視覚化している。	バリアフリー化されているが課題がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○	活動後の毎日の掃除を欠かさずに行っている。	清潔面には欠ける。ジョイントマットを貼って必要なものを取れない。職員のリッカーが壊れ、日も当たりにくい環境になっている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○	子どもが落ちついたらるように、カーンダウンルームを設けた。	引き続き質の向上を図っていく。
	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。		○	毎日の振り返りには参加している。若しシートの共有をして、お子さんの良いところを見つけて共有している。	引き続き質の向上を図っていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○	職員全体での共有をしている。	引き続き質の向上を図っていく。
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○	月に業務についての共有をしたり、コミュニケーションを意識することができている。	話し合いをする機会を増やして行くことで業務の改善に繋がる。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在行っていません。	現在行ってありません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や社内人等で研修を開催する機会が確保されているか。		○	年度火曜日の研修を行っている。月でマゼットの補助の研修を行っている。	毎週の研修を行っているが、業務や活動などによって参加にばらつきもある。そのため、職員のスキルも磨かれる。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○	子どもの行動、音響、支援方法を話し合いを話し作成している。	引き続き質の向上を図っていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を体系的に分析した上で、放課後等サービス計画を作成しているか。		○	理学療法士・保育士・教員・心理士の多職種での協働での協力を進めて、分析を実施している。	引き続き質の向上を図っていく。
	13	放課後等サービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		○	会議室での話し合いを行い、全ての人が意見を述べるような場を設けている。	引き続き質の向上を図っていく。
	14	放課後等サービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。		○	上記と同様に、職員間の共有を行っている。	引き続き質の向上を図っていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○	上記と同様に、職員間の共有を行っている。	引き続き質の向上を図っていく。
	16	放課後等サービス計画には、放課後等サービスガイドラインの「放課後等サービス提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のいずれい支援内容も含まれるが、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		○	全ての内容について、確認・検討を実施している。	引き続き質の向上を図っていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○	活動の内容については、自校舎に留まらず、他の校舎からの意見ももらい、子どもたち一人一人に必要な支援を行っている。	引き続き質の向上を図っていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		○	本人に合わせて必要な支援を工夫している。日々子どもたちが楽しめる内容を工夫し、話し合いの時間を設けている。	引き続き質の向上を図っていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせ放課後等サービス計画を作成し、支援が行われているか。		○	個別の活動が行える場を設けるように工夫し、集団活動もあつたため、集団内の参加の機会を行う。	引き続き質の向上を図っていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して実施を行っているか。		○	チーム前でのコミュニケーションを重視的に行うように行っている。一人ひとりに関しては、お互いに関心あつた状況を作っている。	引き続き質の向上を図っていく。
関係機関や保護者の連携	21	支援終了後は、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。		○	活動終了後に必ず振り返りを行い、お子さんのその日の様子や気づきあつた点を共有している。	引き続き質の向上を図っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。		○	リタリツのシステムを使い、記録を随時することを徹底している。また、次の日に確認・改善内容の記録を保護者へ送っている。	引き続き質の向上を図っていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。		○	6ヶ月に一度見直しを行い、見直しを行っている。	引き続き質の向上を図っていく。
	24	放課後等サービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。		○	職員同士で支援の方向を共有し、実施を行っている。	引き続き質の向上を図っていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育むための支援を行っているか。		○	子どもたちが話し合う機会を設けること、自分の意見を言える場を設けること、耳を傾ける機会を確保している。	引き続き質の向上を図っていく。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。		○	当事者参加型の会議を行い、事業所の職員も参加し、その状況をよく理解している。	引き続き質の向上を図っていく。
	27	地域の学童、児童（生活支援や福祉関係等）、障害福祉、教育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○	学童への見学などを実施した。	引き続き質の向上を図っていく。
	28	学校との連携は「年間計画・行事予定等の交換、こどもの学校時の確認等」、連絡調整（遠隔時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		○	保護者を通して連絡を行っている。また、遠隔の支援員の方との共有を行っている。	引き続き質の向上を図っていく。
	29	学校前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有や相互理解を促しているか。		○	就学前の状態を保護者の方からヒアリングを行っている。	引き続き質の向上を図っていく。
	30	学校を卒業し、放課後等サービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか。		○	現在実施できておりません。	現在実施できておりません。
保護者への説明等	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや障害支援を受けられる機会を設けているか。		○	地域のイベント等の参加を行っている。	地域との連携が現在できておりません。状況に応じて、事例検討を行っている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	現在交流を行ってありません。	現在交流を行ってありません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	現在協議会に参加できておりません。	現在協議会に参加できておりません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。		○	活動前のヒアリングと、活動後には口頭でのフィードバックに加え、次の日に活動中の動画と活動の内容をLINE等で送っている。	引き続き質の向上を図っていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加による研修の開催や情報提供等を行っているか。		○	現在実施が行われておりません。令和8年3月に保護者会の実施が決定。	現在実施が行われておりません。令和8年3月に保護者会の実施が決定。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		○	契約前に、児童発達支援をお伝えしている。また、ご質問をいただいた時に迅速に対応している。	引き続き質の向上を図っていく。
	37	放課後等サービス提供を作成する際には、こどもと保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を含め、こどもや保護者の意向を尊重する機会を設けているか。		○	契約前に、児童発達支援の保護者の意見のヒアリングや、お子さんの意見を汲み取れるような対応を行っている。	引き続き質の向上を図っていく。
	38	「放課後等サービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等サービス計画の同意を得ているか。		○	契約前やモニタリング時には、専門性や計画の意思、今後の予定、内容の説明を丁寧に行うよう工夫している。	引き続き質の向上を図っていく。
	39	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、適切な必要な助言と支援を行っているか。		○	相談業務の体制や、LINE、電話、必要に応じて直接も話し、ご相談に応じる体制を整えている。	引き続き質の向上を図っていく。
	40	父母の会の活動を支えることや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	現在実施が行われておりません。令和8年3月に保護者会の実施が決定。	現在実施が行われておりません。令和8年3月に保護者会の実施が決定。
非営利団体の対応	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○	苦情などでも共有する意識ができています。	引き続き質の向上を図っていく。
	42	定期的に連絡等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	LINE・ブログ・インスタグラム・YouTubeなどの媒体を利用し発信を行っている。	引き続き質の向上を図っていく。
	43	個人情報取扱いに十分留意しているか。		○	利用児童の個人情報ファイルを付録し、鍵付ロッカーで管理。	引き続き質の向上を図っていく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や音響伝達のための配慮をしているか。		○	活動前のヒアリングと、活動後には口頭でのフィードバックに加え、次の日に活動中の動画と活動の内容をLINE等で送っている。	引き続き質の向上を図っていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域のイベント等の開催や、誰でも参加できるミーティングを開催した。	地域住民との交流の場では不十分と考えます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	発生を想定した訓練を毎月ごとに行い、職員に対して定期的に訓練を行っている。	マニュアルを見るだけになっており、訓練ができていないことが多い。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか。		○	サイレンや笛の音と音の聞こえない状態に備え、訓練を行い、訓練時に実施している。	引き続き質の向上を図っていく。
	48	事前に、事業や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。		○	保護者の連絡先や、フォースシートへの記入は丁寧で、データとしてまとめている。	実際に起こっている場合はないが、対応できるかと考えている。
	49	食中毒防止マニュアルのあることについて、医師の指示に基づき対応がされているか。		○	現在食中毒の対策をしておらず、該当なし。	現在食中毒の対策をしておらず、該当なし。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要経費や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分な状態で実施が行われているか。		○	安全計画は年度末に作り直し、職員間の安全計画は年度末には修正を行う。	引き続き質の向上を図っていく。
51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、支援等へ周知しているか。		○	安全計画は年度末に作り直し、職員間の安全計画は年度末には修正を行う。	引き続き質の向上を図っていく。周知が不十分と考えたため、避難訓練の周知をより明確に行う。	
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○	過去の事例について、職員に共有し、共有を図り、次の対応を検討している。	安全確保として、職員への共有は課題として見られる。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	日ごとの子どもたちから寄せられた声かけ、対応の心掛け、未然防止を図っている。	引き続き質の向上を図っていく。	
54	どのような場合にも必ず身元確保を行うことについて、体系的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し周知した上で、放課後等サービス計画に記載しているか。		○	保護者説明書を作成し、説明及び同意を得ている。	引き続き質の向上を図っていく。	